



平成29年10月12日

報道発表資料

川崎市

公益財団法人川崎市産業振興財団

株式会社ミス

川崎市知的財産交流会から生まれた成果 日産自動車の特許技術を活用してミスが新製品を開発

株式会社ミス（代表取締役 酒井高雄 川崎市高津区）は日産自動車の「プラスチックファスナー一定数供給装置」に関する特許ライセンスを受け、自動車生産ライン向けの部品自動供給装置を製品化し、今月（10月）から発売を開始しました。

川崎市では、公益財団法人川崎市産業振興財団と連携し、大企業の開放特許を活用して中小企業の新製品開発などを促進する「川崎市知的財産交流事業」を平成19年度より重点的に実施しています。これまでに29件のマッチング成果が生まれており、本件は26件目の成約にあたります。

■ 製品概要

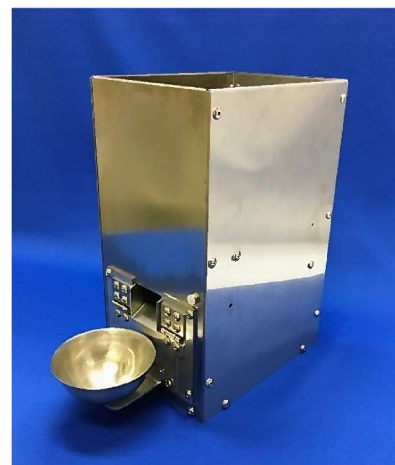
プラスチックファスナーとは自動車のドアパネルやバンパーの固定に使用される樹脂製の留め具で、近年では主に内装品の固定に多用され、車両の軽量化に貢献しています。製造工程においては従来、作業員が手作業で部品箱から取り出しており、作業効率と計数の正確性に課題がありました。

今回導入した特許はこれを自動化するもので、生産ラインに流れてくる車種に応じて、必要な種類のプラスチックファスナーを必要な数だけ作業員に自動的に供給する技術です。定価：198,000円（税別）

■ 製品化までの経過

日産自動車とのマッチングにより技術情報の提供を受け、平成29年5月に本特許の実施権を導入して試作開発を開始し、9月に製品が完成しました。現在までに日産自動車だけでなく、トヨタ自動車などが複数の工場サンプル機を設置し、モニタリングしています。

なお、ミスでは平成25年12月にも日産自動車から「部品定数供給装置」の特許を導入し、“金属製ボルト”用の定数供給装置「パーツカウンター」として製品化しており、第2弾の新製品となります。



■ 技術開発の取組内容

自動生産装置の開発で培った技術力を活かして、独自の工夫と改良を重ね本製品の開発にあたってきました。主な改良点は、センサーの工夫により安定した数量のカウントを実現したこと、攪拌機能の改善を行い、空回りを防止したことなどがあり、これらの新たな発明は特許出願済みです。

■ 導入した知的財産

特許：部品供給装置及び部品供給装置の制御方法（PCT-JP206-082352）

■ 今後の計画

（初代）パーツカウンターは平成27年から発売開始。日産自動車を始めトヨタ自動車やヒュンダイ等の国内外の自動車メーカーに累計約150台を納めています。今後、初代のパーツカウンターの既存販売ルートと合わせて、プラスチックファスナー一定数供給装置を売り込んでいく考えであり、両装置合計で年間200台の販売を目標にしています。

お問い合わせ先 ※企業概要は別紙参照

川崎市経済労働局 産業政策部 企画課 木村、嶋村、朝井
公益財団法人川崎市産業振興財団 産業支援部 塩川、安島
株式会社ミス 酒井

電話 044 (200) 3896

電話 044 (548) 4139

電話 044 (813) 7530

◎別 紙

■ 企業概要

■株式会社マイス

所在地 : 川崎市高津区宇奈根 758

代表者 : 代表取締役 酒井高雄 (さかい たかお)

事業内容 : 自動組立機・検査装置等の開発・設計・製造・組立など

資本金 : 2,000 万円

従業員数 : 3 名